

特別企画：「食品主要 195 社」価格改定動向調査—2023 年 3 月

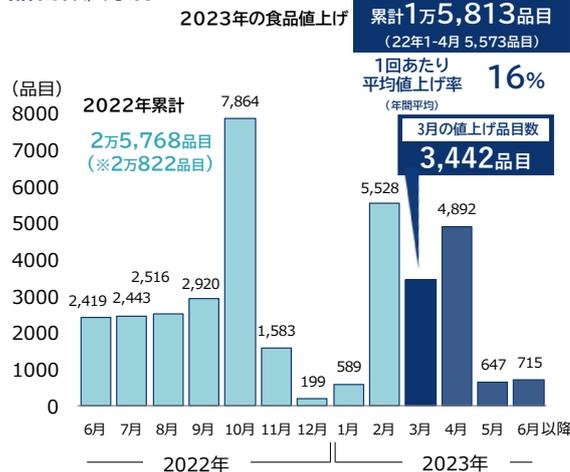
食品値上げ、3 月も 3000 品目超 値上げトレンド「小分け×小幅」へ 8 月にも年内値上げ 2 万品目突破の可能性

「小分け×小幅」値上げへとトレンド変化、値上げラッシュは年内続く可能性高まる

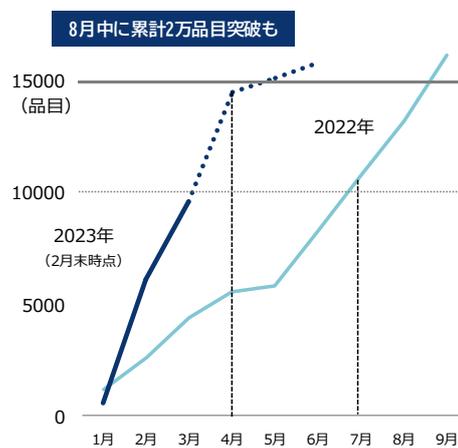
2023 年の食品値上げは 4 月までに 1 万 5000 品目を突破する見込みで、値上げの動きが早期に収束する気配は全く見られない。こうしたなか、足元では「1 回での大幅値上げ」から、コストアップの長期化を見越し、柔軟に価格を改定する「複数回・小分けした小幅な値上げ」へのトレンド変化がみられる。そのため、月ごとの値上げは加工食品や菓子などを中心に 22 年に比べ多くなる見通しで、23 年の値上げ品目数累計は 8 月にも 2 万品目を超える可能性がある。

今後は、4 月に控える「輸入小麦」の価格改定に加え、既にマヨネーズなどの値上げに影響を及ぼしている「鶏卵」の供給動向が注目される。また、物流コストや容器代などのコスト増による値上げが、小型 PET ボトル製品やビール・RTD 飲料製品にも及ぶかが注視したいポイントとなる。

2023 年の食品値上げ（2 月 28 日 12 時時点） 品目数/月別



実施ベースでの値上げ品目数動向



[注] 調査時点の食品上場105社のほか、全国展開を行う非上場食品90社を含めた主要195社の2022-23年価格改定計画。実施済みを含む。
品目数は再値上げなど重複を含む

[注] 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西 伴浩

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

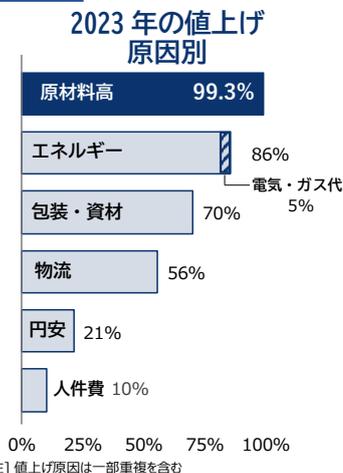
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

3 月も 3000 品目超の値上げラッシュ、8 月にも年内累計 2 万品目突破の可能性

今年春までは大規模な値上げラッシュが続く。2023 年における家庭用を中心とした飲食料品の値上げ品目数は、2 月までに累計 1 万 5813 品目に上った。このうち、今年 1-4 月までの累計品目数（1 万 4451 品目）は、前年と同じ時期（22 年 1-4 月：5573 品目）に比べて 3 倍ペースで推移している。また、2022 年に実施された値上げでは、1.5 万品目を突破するのに要した期間が 9 カ月だったのに対し、23 年はそれより 4 カ月早く到達する見込みとなる。

このうち 2023 年 3 月単月の値上げは加工食品を中心に 3442 品目となり、前年同月（1760 品目）に比べて約 2 倍に達した。ただ、4 月には今年最多の 2 月（5528 品目）に迫る 4892 品目が、5 月以降も合計 1000 品目超の値上げが既に予定されている。値上げラッシュは今春を「ヤマ場」としながらもなお収束の気配は見せておらず、8 月にも予定ペースで累計 2 万品目を突破する可能性がある。

2023 年に予定される値上げ 1.5 万品目のうち、原材料高が理由となったものは 98%以上（品目数ベース）と、ほぼ全てで原材料高が理由にあげられた。一方で、原油高などのエネルギー（86%）、プラスチック容器などの包装・資材（70%）のほか、円安（21%）なども理由に上がった。物流コストや輸入コスト上昇が続く、製品価格へ緩やかに反映する動きが目立っている。



菓子類の値上げ、単月で過去最多 乳製品の値上げも前年超えのハイペースで進む

2023 年 3 月の値上げで最も多い食品分野は加工食品で 1753 品目となり、単月全体の約半数を占めた。ちくわをはじめ水産加工品のほか、2 月に続き冷凍食品でも値上げが多くみられた。次いで多いのが菓子で 593 品目に上り、煎餅やグミ、氷菓などを中心に値上げが行われる。また、菓子における値上げ品目数は、単月としては 22 年 9 月（453 品目）を上回り最多を更新した。

2023 年では加工食品（8022 品目）が最多で、2 月に続き 4 月もチルド麺や缶詰製品、ウィナー製品の大規模な値上げラッシュが控える。注目されるのは飼料高などで生乳取引価格が上昇している乳製品（760 品目）で、牛乳やバター、ヨーグルト製品で 4 月に一斉値上げが行われる。前年累計（1225 品目）に迫る勢いで推移しており、今後さらに増加する可能性もある。

主な食品分野 価格改定の動向

[注] ()内は2022年の実績値。22年・23年ともに計195社の値上げ品目数

	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品 (牛乳・ヨーグルト)
品目数	8,022 (9,468)	3,100 (5,953)	2,497 (5,063)	1,172 (1,967)	760 (1,225)
1回あたり 平均率	15% (14%)	11% (14%)	12% (14%)	8% (12%)	10% (10%)
背景	食肉・水産品などの価格高騰 物流費の上昇 円安による輸入コスト増	砂糖、食用油の価格高騰 包装資材費の上昇	円安による輸入コスト増 缶・ペットボトルなど包装資材 費の上昇	食用油の価格高騰 物流費の上昇 エネルギーコストの上昇	原材料価格の上昇 包装資材・運輸コストの上昇 円安による輸入コスト増
主な食品	冷凍食品、水産缶詰 シリアル食品 チルド麺製品	醤油、ソース、ケチャップ 調理用ワイン だし製品	輸入ワイン・ウイスキー類 焼酎・RTD飲料 エナジードリンク・豆乳	米菓・アイスクリーム製品 スナック・チョコレート菓子 ゼリー製品	パック牛乳 ヨーグルト・乳酸菌飲料 乳幼児用粉ミルク類